

今夜、列車は走る (2004)

PROXIMA SALIDA

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アルゼンチン
色彩 Color
時間 110分
初公開日 2008/04/12
公開情報 Action Inc.

【キャッチコピー】

出口はきっとある

【解説】

90年代初頭、民営化の波が押し寄せたアルゼンチンでは、国鉄も分割民営化され、およそ6万人もの鉄道員たちが職を失ったという。本作はそんな実情を背景に、激動の時代に翻弄される5人の鉄道員とその家族の物語を綴った社会派ドラマ。主演は「トーク・トゥ・ハー」のダリオ・グランディネッティ。監督はこれが長編デビューとなるニコラス・トゥオッツォ。

鉄道とともに栄えたアルゼンチンの小さな町。しかし民営化に伴い、ある日突然、路線の廃止が言い渡される。交渉に当たった組合代表は無力感に苛まれ自殺を遂げる。彼の弟カルロスとその仲間たち、ブラウリオ、ダニエル、アティリオ、ゴメスの5人は、最初は自主退職に抵抗したものの、家族や生活のため次々とサインすることに。そんな中、ブラウリオは職場である修理工場を守り抜こうと徹底抗戦を続けるのだが…。

【クレジット】

監督	ニコラス・トゥオッツォ	Nicolas Tuozzo	
製作	マルコス・ネグリ	Marcos Negri	
	パブロ・ラット	Pablo Ratto	
脚本	マルコス・ネグリ	Marcos Negri	
	ニコラス・トゥオッツォ	Nicolas Tuozzo	
撮影	パブロ・デレーチョ	Pablo Derecho	
音楽	セバスティアン・エスコフェット	Sebastian Escofett	
出演	ダリオ・グランディネッティ	Dario Grandinetti	カルロス
	メルセデス・モラーン	Mercedes Moran	スサーナ
	ウリセス・ドゥモン	Ulises Dumont	ブラウリオ
	パブロ・ラゴ	Pablo Rago	ダニエル
	バンド・ビリヤミル	Vando Villamil	アティリオ
	オスカル・アレグレ	Oscar Alegre	ゴメス
	バレンティナ・バッシ	Valentina Bassi	リサ
	ルクレシア・カペーリョ	Lucrecia Capello	カルメン